兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R3.1.21
発行
第 374 号

謹んで新春をお祝い申し上げます

新しい年を迎えてから、早や１カ月が過ぎようとしています。今年のお正月は、いつもの賑わいはなく先の見えない不安の中で迎えました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、予定通り３学期をスタートすることができたことに感謝しています。今後もこれまで同様、感染防止に最大限の注意を払いながら、児童生徒の貴重な学習の機会を維持していけるよう、訪問学級職員一同、がんばっていきたいと思います。

さて、３学期はとても短く、あっという間に過ぎ去ってしまいます。各学部の卒業学年の児童生徒のみなさんは、より早く感じることでしょう。高等部３年生にとっては、この３カ月が訪問学級での最後の学校生活になります。楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、そして病院関係者の皆様が、この１年御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。そして、あおの訪問学級に、変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いします。

（教頭　黒田　勝）

西2病棟

寒くなり、雪が降る日もありました。そのため、西２の児童生徒たちは、冬を感じる学習に取り組みました。本物の雪に触れ、手のひらや頬、額などで冷たさを味わいました。その後、お湯で温まり、温泉に入っている気分になりました。また、クリスマスカード制作やイルミネーション鑑賞をし、時には、サンタクロースの衣装を身に着け、クリスマス行事を満喫しました。さらに、書初め展に向けて書道体験をしました。墨の香りを匂い、それぞれのやり方で筆を進め、すばらしい作品が仕上がりました。

西3病棟

西３病棟では、冬の学習やクリスマスの行事体験を行いました。雪が降った日には、袋に入れた本物の雪を触り、冷たさや感触を味わいました。クリスマスに向けて、それぞれの方法で描いたツリーやリースに、紙すきで作った紙を貼って飾り付け、クリスマス飾りの制作を行いました。また、クリスマスソングを聞いたり、イルミネーションを見たりして、クリスマスムードを満喫しました。さらに、書初め展に向けて書道も行いました。筆を何度も動かして、力強く躍動感のある作品が出来上がりました。

東2病棟

本格的な寒さとともに楽しいクリスマスシーズンがやってきました。クリスマスソングを楽しむ人や、リース作りに励んだ人、お手製のハートのオーナメントで職員さんとゲームをした人もいました。また、友だちのペープサートに色々なマフラーやブーツ、ニット帽、手袋をコーディネートして冬のファッションを楽しんだ人もいました。そしていよいよ来年の準備。パソコンでたくさんの候補の中から、牛のデザインや新年の挨拶を選んで素敵な年賀状を仕上げました。

東3病棟

2020 年の最後の月、東３ではクリスマスソングを聞いたり、イルミネーションを楽しんだり、ツリーやリースを作ったりして、クリスマスを満喫しました。寒い季節、「てぶくろ」の本を読んだり、湯たんぽや手浴をしたりして暖まったお友だちもいました。また、墨の匂いや筆の柔らかさに触れ、書初め展に向けてそれぞれのやり方で筆を動かし、味のある作品を作ることができました。年賀状作りにも取り組みました。2021 年の干支の牛を思い思いに描いたり、牛のシールを貼ったりして、新年の挨拶を届けようとがんばりました。もう～と良い年になりますように。